

<健保保健師としての意気込み>

初めまして。東電健保の保健師の中野です。

このページを開設するにあたり、自己紹介を兼ねて今までの経験や東電健保で働きたい！と思った経緯をお話させていただきます。



～医療職としての思い～

以前は大学病院で、看護師として働いていました。

呼吸器（肺・気管）や消化器（食道・胃・腸・肝臓）や腫瘍（がん）の病気の治療に携わっていました。

病院で働き、患者さんと関わる中で、「こんなに悪化させる前（入院が必要になる前）にもっと早く対応できたはず・・・」と思うことが少くありませんでした。

また、入院中は順調であったにも関わらず、退院後に症状の悪化で繰り返し入院してくる方もいました。

そのような方々をみている中で、病院での対応では遅すぎることや、重要なのは入院中だけではなく医療者のサポートのない患者さん各々の日常生活の場だと痛感しました。

そんなこともあり、予防的な観点から早期に健康のサポートをしていくことに強い関心を持ちはじめ、社会を最前線で支えている方々を健康管理という観点から支えたいと考えていました。

～東電健保で働きたいと思った理由～

メディアで、福島の子力への問題にも真摯に向き合い責任を持って取り組んでいる方々の姿は、その酷烈さに胸を締め付けられるとともに、そのひたむきな姿も強く印象に残りました。

また、私たちのライフラインは東京電力の従業員の方々が支えています。

この方々がいなければ、私たちのこの何気ない日常は存在し得ないと言っても過言ではないと思います。

だからこそ、社会の重要基盤であるライフラインを支え、重大な責任を負いつつ前向きに仕事に取り組む皆さまを、東電健保の一員として健康面のサポートをしたい！と思いました。

皆さまのより豊かで活力の溢れた健康な毎日を過ごせるように、今後、健康保険組合のスタッフと共に、ここで健康についての様々な情報発信をしたいと思います。

よろしくお願ひします！